

DigitSeis: 大まかな流れ

1. 画像の読み込み



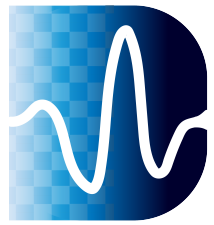
2. 分類



3. デジタル化

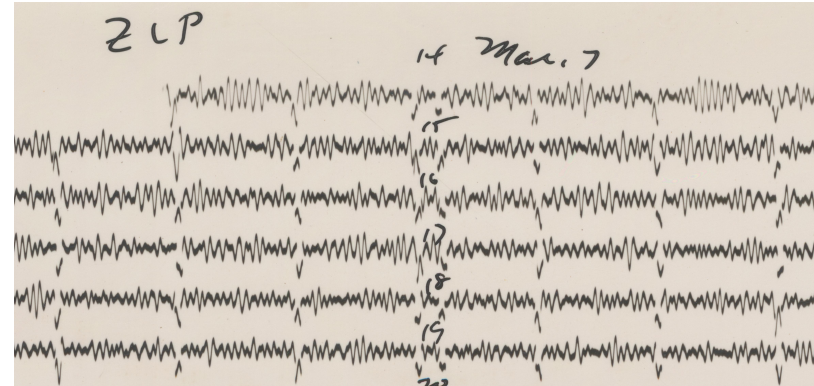


4. 時間設定



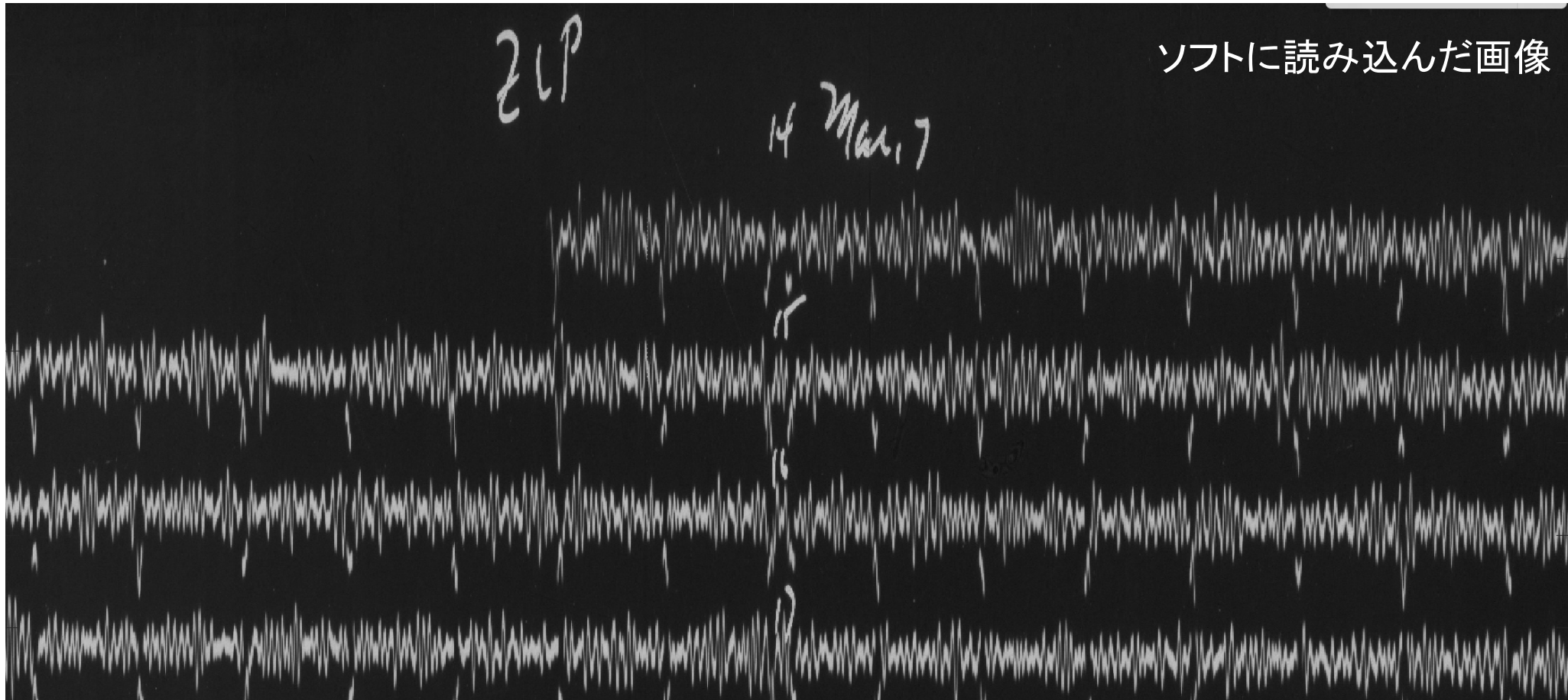
DigitSeis: 1. 画像の読み込み

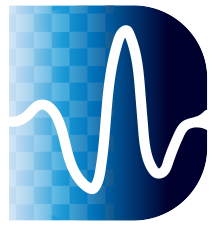
元の画像



- 画像を数値に変換
- 白地に黒線を黒地に白線に変換

ソフトに読み込んだ画像

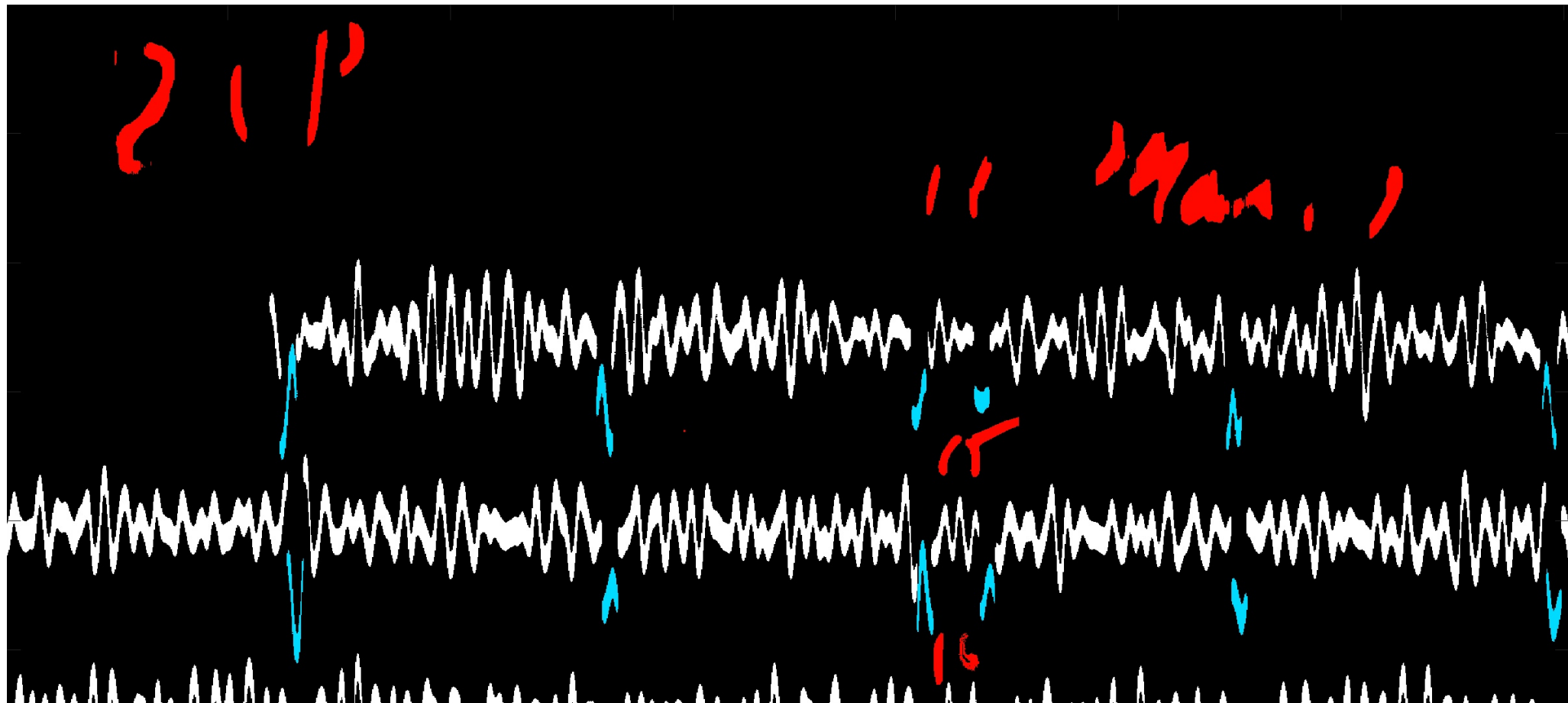
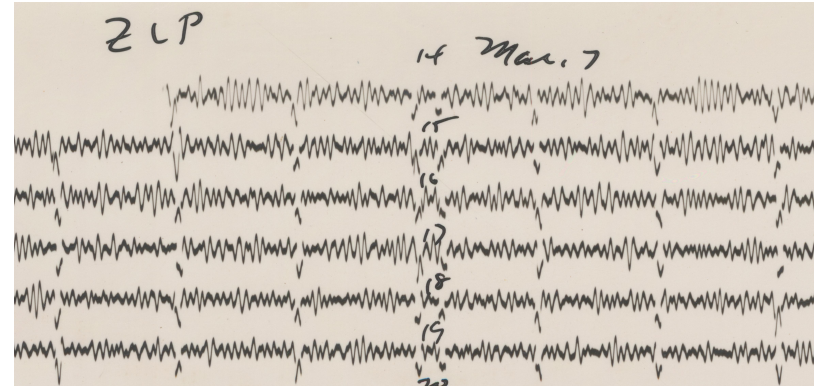


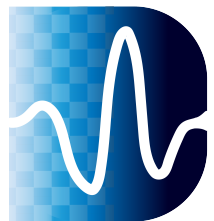


DigitSeis: 2. 分類

時間記録の部分(分示線と時示線)と主線に分ける
地震計記録以外のもは不要な情報として分類

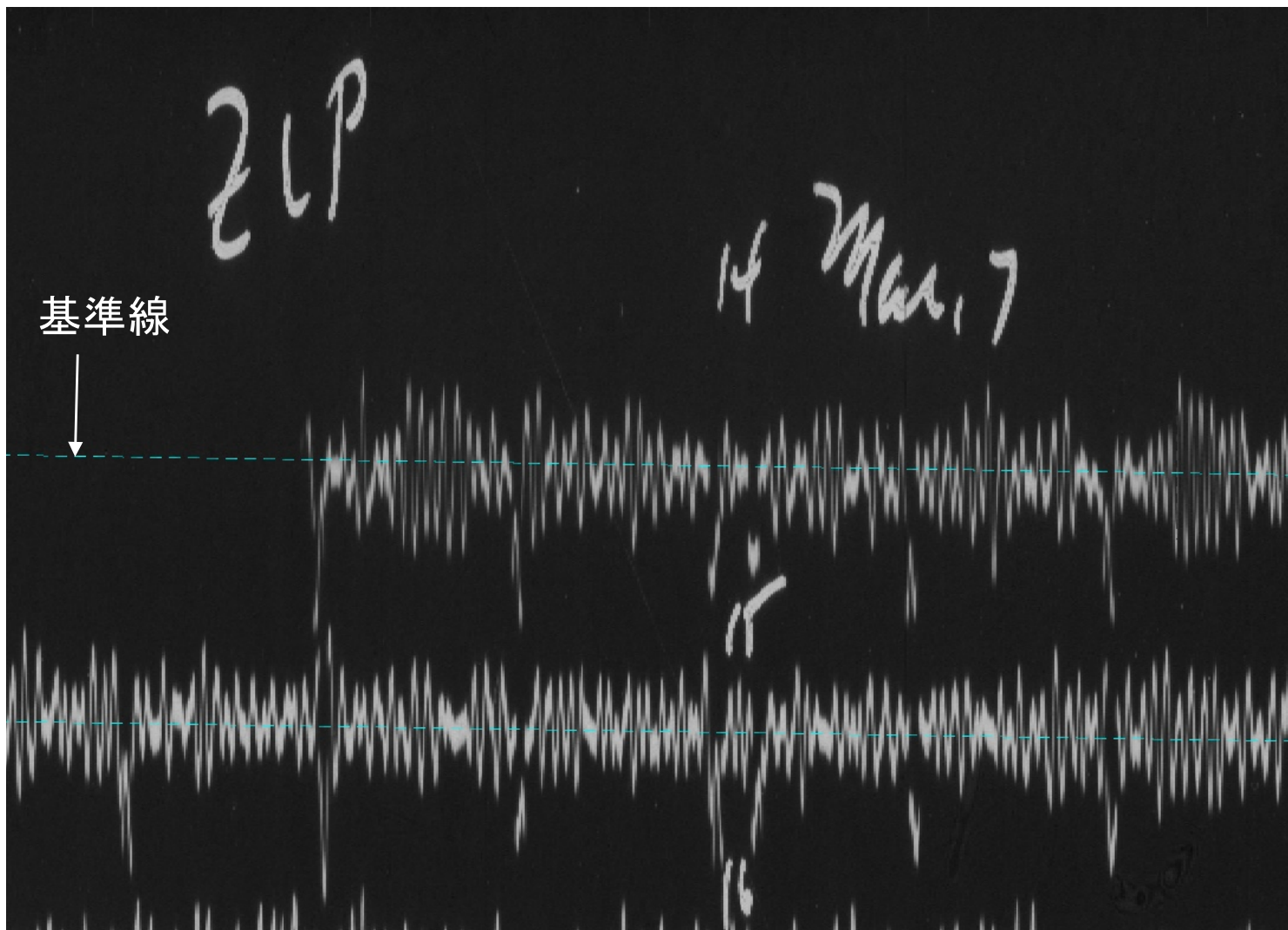
- 主線(白)
- 分示線と時示線 (青)
- 不必要な情報 (赤)

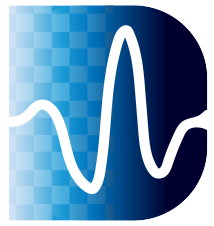




DigitSeis: 3. デジタル化

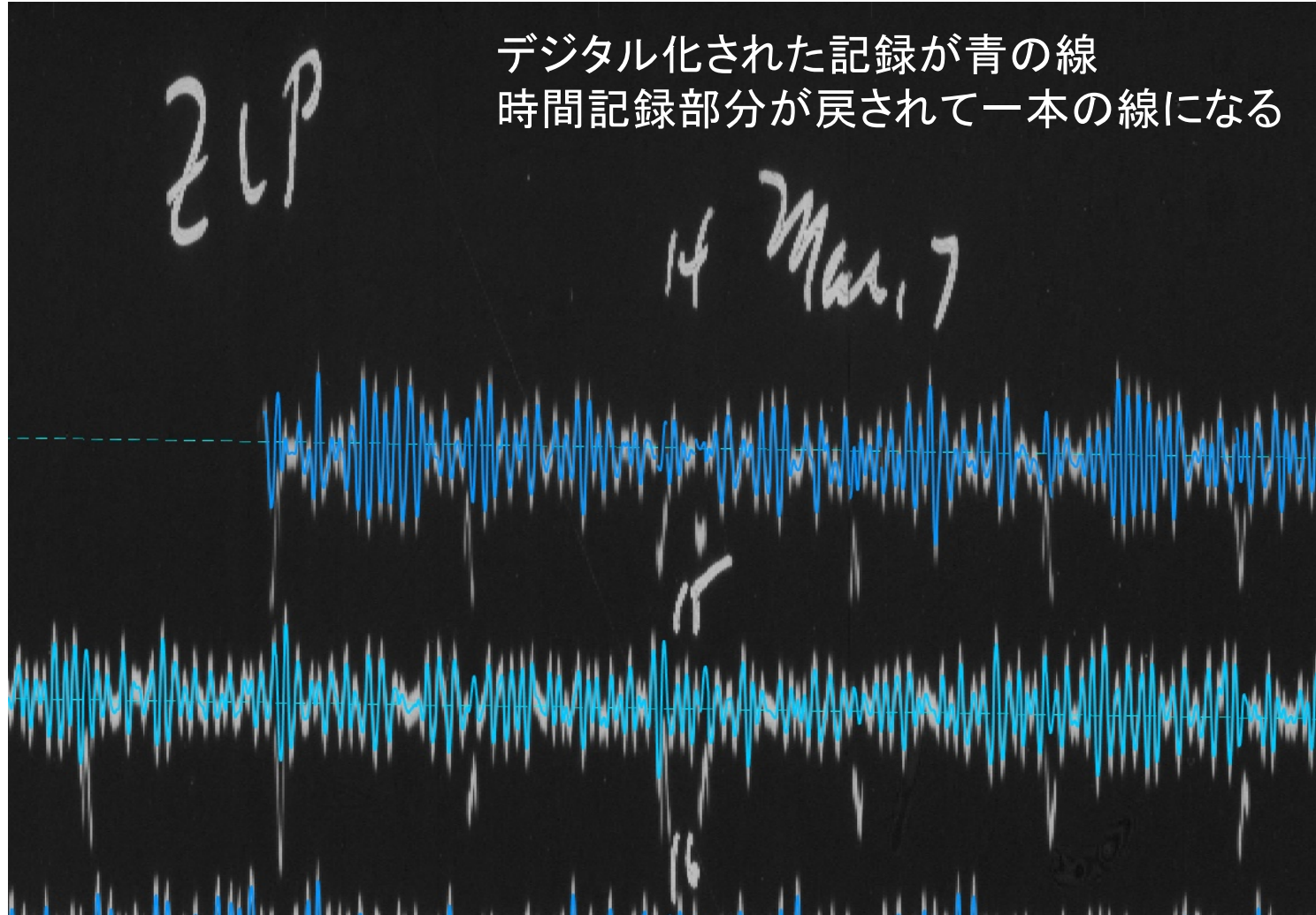
- 基準の線の計算
- デジタル化
- 訂正／補正



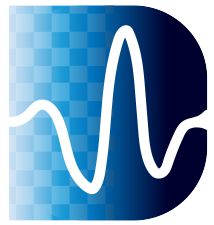


DigitSeis: 3. デジタル化

- 基準の線の計算
- デジタル化
- 訂正／補正



分類の正確さと地震計記録の複雑さによっては訂正／補正が必要



DigitSeis: 4. 時間設定

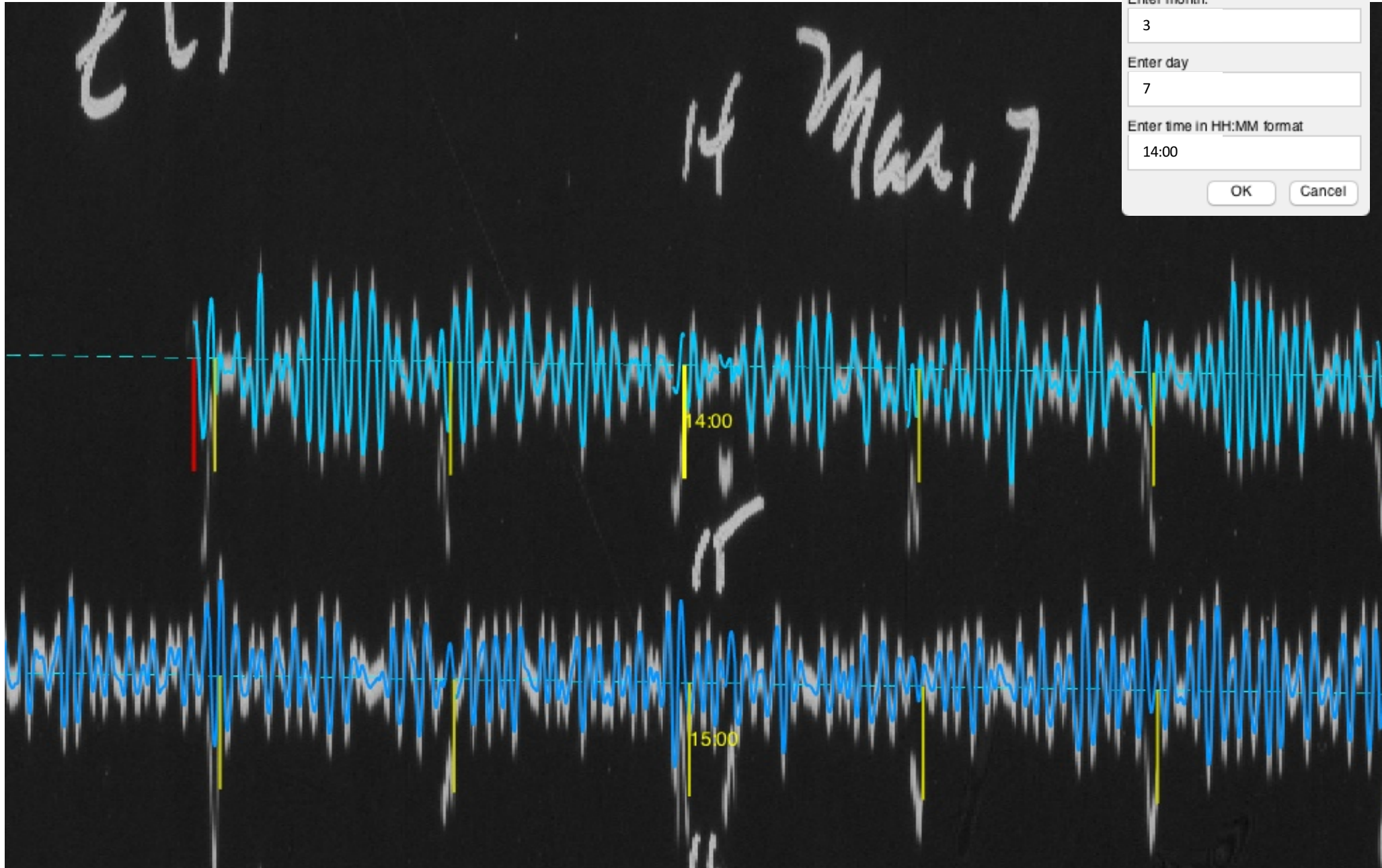
Set Reference...

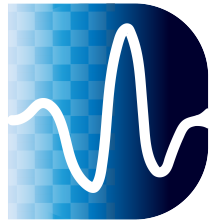
Enter year:

Enter month:

Enter day:

Enter time in HH:MM format





DigitSeis: 必要な作業

- 確認
- 訂正と補正
- データ入力

